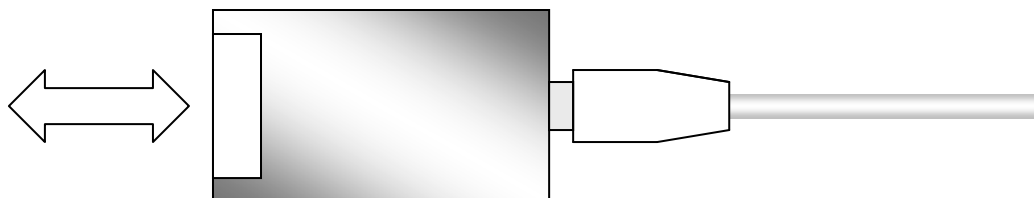


# TUSB-S01TC

USB インタフェース付き熱電対温度測定ユニット

添付プログラム取扱説明書



1. はじめに.....	2
1.1 動作環境 .....	2
1.2 インストール .....	2
2. 操作.....	3
2.1 起動 .....	3
2.2 メイン画面 .....	3
2.3 メイン画面各部機能説明 .....	4
2.3.1 グラフ表示領域.....	4
2.3.2 現在値表示.....	4
2.3.3 グラフ縦軸表示設定.....	5
2.3.4 グラフ横軸表示設定 .....	5
2.3.5 取込設定ボタン.....	6
2.3.6 設定条件保存ボタン .....	6
2.3.7 データ表示ボタン .....	6
2.3.8 開始、停止ボタン .....	6
2.3.9 印刷ボタン .....	6
2.3.10 保存ボタン .....	7
2.3.11 読み込みボタン .....	7
2.3.12 終了ボタン .....	7
2.3.13 移動ツール表示ボタン .....	7
2.4 取込条件設定について.....	8
2.4.1 使用ユニットと接続方式 .....	8
2.4.2 取込間隔 .....	8
2.4.3 種類について .....	9
2.5 数値データの表示について .....	10
2.6 データの保存について.....	11

## 1. はじめに

この説明書は、熱電対温度測定ユニット TUSB-S01TC に付属の温度測定プログラムについて説明しています。本プログラムを用いて温度値の数値表示、グラフ表示、測定済みデータの記録をすることが出来ます。

### 1.1 動作環境

コンピュータ Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows Xp の動作する  
コンピュータで TUSB-S01TC ドライバが正常にインストールされているもの。

### 1.2 インストール

添付プログラムディスク内にあるインストールプログラム「setup.exe」を実行(setup アイコンをダブルクリック)してください。CDR 内の¥TUSBTC¥APP¥SETUP ディレクトリの中にあります。

しばらくするとインストールプログラムが起動しますので、画面の指示に従ってインストール作業を進めて下さい。インストールが完了しましたら、コンピュータを再起動してください。

## 2. 操作

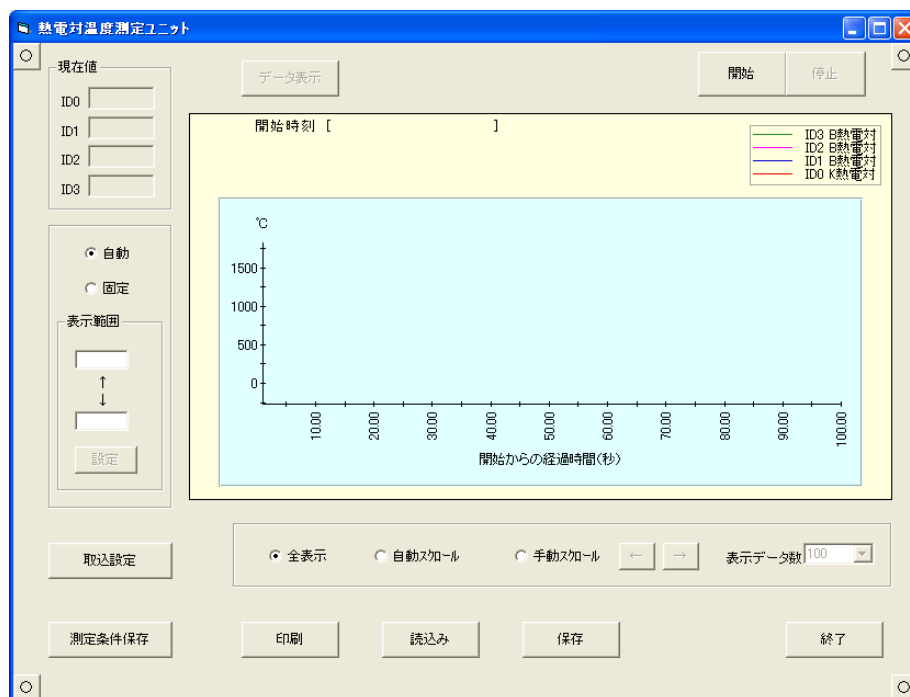
### 2.1 起動

インストールが完了するとスタートメニューからプログラムの項目「TUSB-S01TC」を選び「TUSB-S01TC 温度測定」を実行してください。温度測定プログラムが起動します。

### 2.2 メイン画面

温度測定プログラムを起動すると以下の様な画面が表示されます。

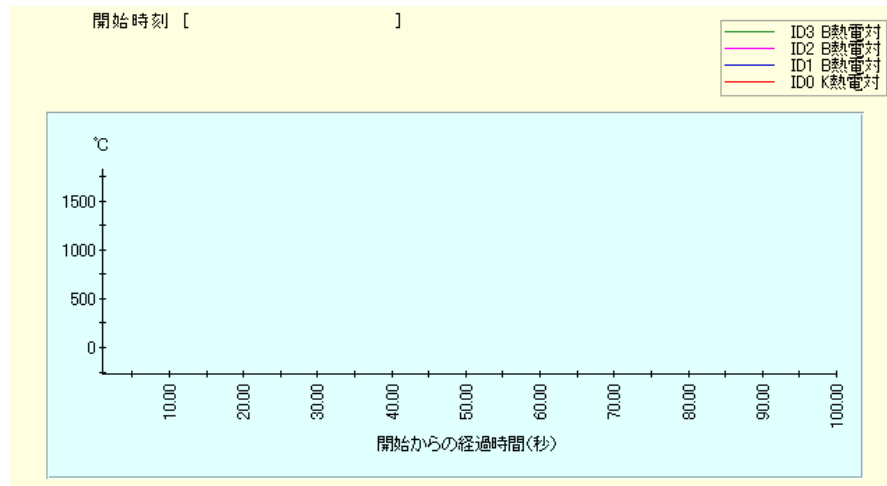
(OS や設定などにより画面のイメージは多少異なります)



測定手順としてはまず「取込設定」ボタンにより取込条件の設定を行い、開始ボタンにより測定を開始します。測定中はグラフでデータを確認できます。

## 2.3 メイン画面各部機能説明

### 2.3.1 グラフ表示領域



グラフ表示は横軸に開始からの経過時間、縦軸に温度値を表示します。最大 4 台まで「TUSB-S01TC」の接続は ID 番号(0～3)によって色別で区別されます。左上には開始時刻が表示されます。

### 2.3.2 現在値表示

現在値

ID0	
ID1	
ID2	
ID3	

機器の ID 毎に最後の取込値が表示されます。

### 2.3.3 グラフ縦軸表示設定



グラフの縦軸表示は自動と固定の 2 つから選択できます。

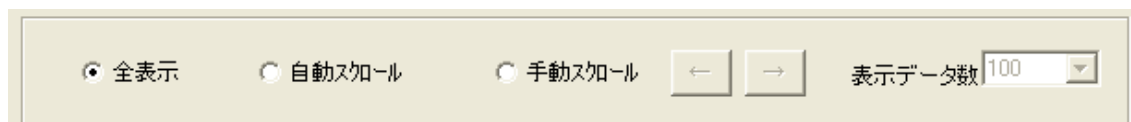
☐ 自動

取込データの値に応じて取込データ全てが表示できるような範囲に設定します。最大、最小目盛りは 100℃毎に変化します。

☐ 固定

表示範囲に表示したい範囲の最大と最小値を入力します。上側が最大値、下側が最小値です。数値を入力したら設定ボタンを押して下さい。

### 2.3.4 グラフ横軸表示設定



グラフの横軸表示は全表示、自動スクロール、手動スクロールの 3 つから選択できます。

☐ 全表示

取り込んだ全てのデータが表示できるように自動的に横軸を調整します。データ数が 100 未満の時は 100 個まで表示できるように横軸が設定されます。

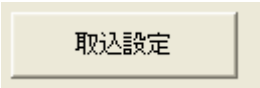
☐ 自動スクロール

横軸の表示データ数を一定にして最新のデータが表示できるように自動的にスクロールします。表示個数は右端の表示データ数で選択してください。表示データ数の半分毎にスクロールします。

○ 手動スクロール

横軸の表示データ数を一定にしますが、自動的にスクロールしません。表示個数は右端の表示データ数で選択してください。表示位置を変えるには手動スクロール選択の右側にある矢印ボタンを押して下さい。この矢印ボタンを押した時の変化量は表示データ数の半分です。

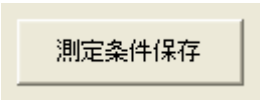
### 2.3.5 取込設定ボタン

A rectangular button with a light beige background and a thin black border. The text "取込設定" is centered in black.

この取込設定ボタンを押すと各種取込条件を設定できます。

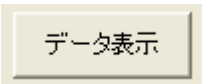
詳しくは「取込設定について」を参照してください。

### 2.3.6 設定条件保存ボタン

A rectangular button with a light beige background and a thin black border. The text "測定条件保存" is centered in black.

取込設定ボタンで設定した測定条件を保存します。保存された測定条件は次回起動時に自動的に読み込まれます。

### 2.3.7 データ表示ボタン

A rectangular button with a light beige background and a thin black border. The text "データ表示" is centered in black.

取込データを数値で表示できます。(サンプリング中は表示できません)

詳しくは「数値データの表示について」を参照してください。

### 2.3.8 開始、停止ボタン

A rectangular button with a light beige background and a thin black border. The text "開始" is centered in black.A rectangular button with a light beige background and a thin black border. The text "停止" is centered in black.

開始ボタンで測定開始、停止ボタンで測定を停止します。最大取込数量は 80000 データです。

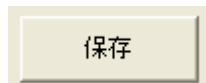
### 2.3.9 印刷ボタン

A rectangular button with a light beige background and a thin black border. The text "印刷" is centered in black.

表示されているグラフを印刷できます。このボタンを押すと印刷条件を入力する画面が表示

示されますので、印刷条件を設定して印刷してください。印刷条件の画面はシステムやインストールされているプリンタにより異なりますので取扱についてはシステムおよびプリンタの説明書等を参照してください。

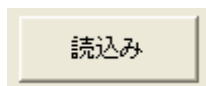
#### 2.3.10 保存ボタン



取込済みのデータを保存出来ます。

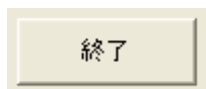
詳しくは「データの保存について」を参照してください。

#### 2.3.11 読み込みボタン



保存済みのデータを読み込む事が出来ます。Windows 標準のファイル選択画面が表示されますのでデータファイルを選択してください。

#### 2.3.12 終了ボタン



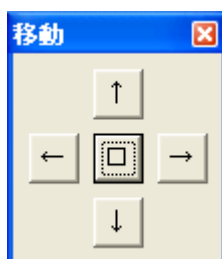
プログラムを終了します。

#### 2.3.13 移動ツール表示ボタン



本プログラムの画面の四隅にあります。移動ツールを表示します。

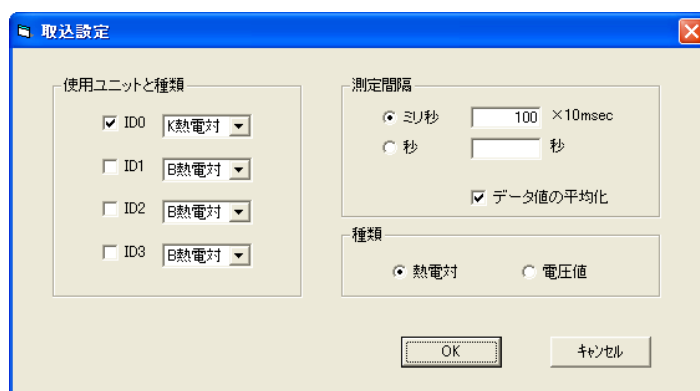
移動ツール



移動ツールは画面の小さい PC 等で本プログラムの全画面が表示できない時に画面の移動を行うツールです。中央のボタンを押すと左上にセットされます。

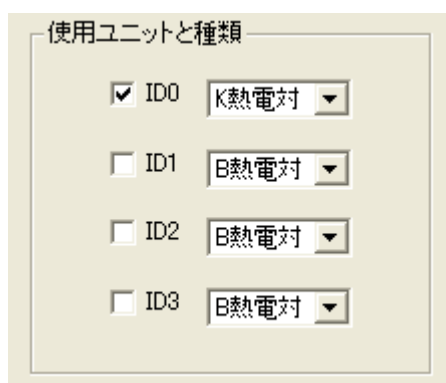


## 2.4 取込条件設定について



取込条件を設定します。取込を行うユニットの ID や取込間隔、取込データの種類を選択します。

### 2.4.1 使用ユニットと接続方式



使用する ID に設定したユニット(TUSB-S01TC)をチェックしてください。使用するユニットの熱電対の種類はその右側にあるリストから選択してください。(B,R,S,N,K,E,J,T)

### 2.4.2 取込間隔

取込間隔を設定します。開始ボタンを押した時にここで設定した時間毎にデータを取込ます。タイマーの方式により「ミリ秒」および「秒」から選択します。

○ ミリ秒による設定

装置内部のタイマーを使用して最小 10 ミリ秒毎にデータを取り込む事が出来ます。この設定の最大値は 10000(100 秒)です。

データの平均化をチェックすると最速 10m 秒毎に取り込んだ値で平均化します。たとえば、測定間隔を 2 秒とした場合は 200 個の平均となります。移動平均ではありません。

※ 内臓タイマーの精度は±0.5%程度です。特に長時間測定では時間差が大きくなります。長時間測定においてチャンネル間同時性を確保するには秒設定を選択してください。

○ 秒による設定

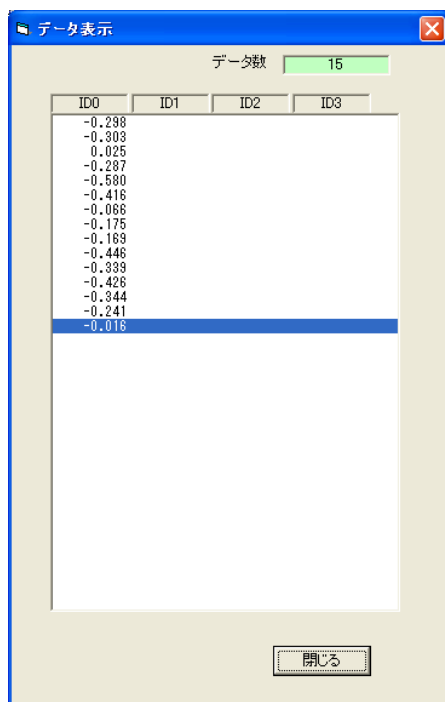
コンピュータ内のタイマーを使用して取込ます。このタイマーは 1 秒毎で、最小 1 から最大 65535 秒(平均化の時は 10 秒から)まで設定できます。ただし、システムの動作状態によっては時間差にずれが生じたり取りこぼしたりする場合があります。

データの平均化をチェックすると取込タイミング毎に 100 回平均します。移動平均ではありません。

### 2.4.3 種類について

測定するデータの種類を選択します。本装置は Pt100 センサの抵抗値を計測し、JIS C1602 の補間式を使用して温度値に変換しています。変換前の抵抗値を記録する必要がある場合は抵抗値を選択してください。

## 2.5 数値データの表示について



測定後に取込済みデータを数値で確認できます。  
閉じるボタンを押すはこの表示を終了します。

## 2.6 データの保存について

メイン画面で保存ボタンを押すと次の様な画面が表示されます。

ここではファイルに残すメモの入力やファイルの保存形式を選択出来ます。メモは 5 種類保存できます。

全ての項目を設定したら次へボタンを押して下さい。Windows 標準の保存画面が表示されますので保存場所とファイル名を入力して保存してください。

保存を中止する場合は戻るボタンを押して下さい。メイン画面に操作が戻ります。

ファイルの保存形式について

### ○ CSV 形式のファイル

表計算やその他のプログラムでロードできる様にテキスト形式のファイルを作成します。ファイル形式は以下の通りです。この形式で保存したファイルは本プログラムでは読み込むことが出来ません。

保存フォーマット(テキスト)

\*印の所には数値や文字が入ります。

```

熱電対温度測定ユニット
測定日,****/**/** **:**:**
メモ 1,****
メモ 2,****
メモ 3,****
メモ 4,****
メモ 5,****
測定間隔(msec),**
データ平均化処理,*
種類,**
使用ユニットの種類
*熱電対, *熱電対, *熱電対, *熱電対
測定データ
データ数,*****
ID0,ID1,ID2,ID3
***,***,***,***
***,***,***,***
. . .
    
```

- ※ 測定日は 年/月/日 時:分:秒 が入ります。
- ※ 測定間隔は秒設定の場合は sec となります。
- ※ データ平均化処理は「有り」「無し」が入ります。
- ※ 種類は 「熱電対」か「電圧」 です。
- ※ この後はデータ数だけデータが続きます。
- ※ データに無い ID は何もデータが入りません。

#### ○ 専用形式のファイル

本プログラム専用の形式で保存します。この形式のファイルは本プログラムの読み込みボタンでデータを読み込む事ができます。他のプログラムなどでは読み込む事ができません。

**TUSB-S01TC プログラム取扱説明書**

発行年月      2003 年 7 月   第 1 版

2012 年 2 月   第 3 版

発      行      株式会社   タートル工業

編      集      株式会社   タートル工業

c2012   株式会社   タートル工業

